



新型車両LO系

会長のあいさつ



リニア中央新幹線・JR複線電化
推進亀山市民会議 会長

亀山市長

櫻井 義之

暖春の候、市民の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、当市民会議はリニア中央新幹線の早期着工と市内停車誘致、亀山駅を中心とした各 JR 線の複線電化促進を目指し、国や関係機関等への要望活動や親子学習会などさまざまな活動を行っています。

リニア中央新幹線につきましては、平成 25 年 8 月に延伸工事等を終えた山梨リニア実験線において、営業仕様の新型リニア車両 LO 系による走行試験が再開されました。また、その翌月には東京・大阪間のうち東京・名古屋間において環境影響評価の準備書が公表され、中間駅やルートが発表されるなど、リニア中央新幹線の着工へ向け大きく前進しました。

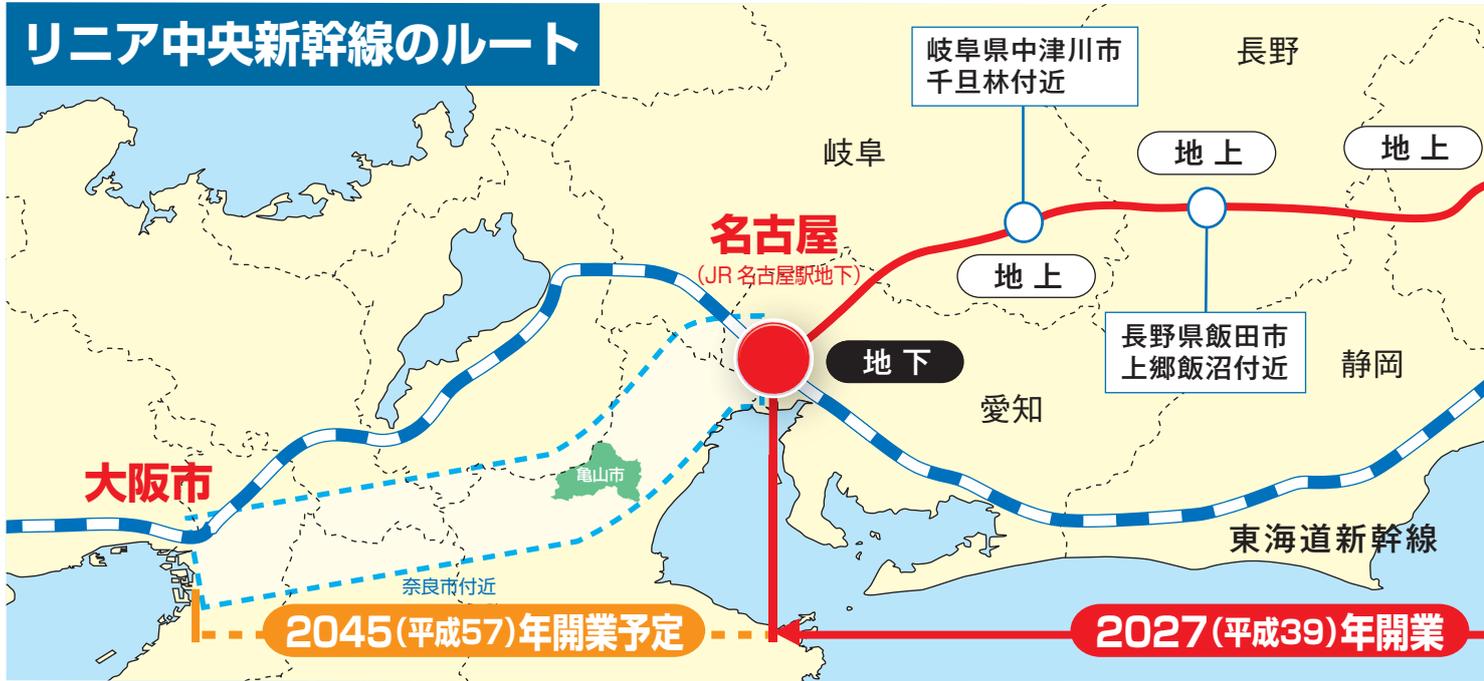
しかし、名古屋以西については未だ中間駅やルートが確定していない状況であることから、リニア中央新幹線の効果が十分に発揮される東京・大阪間全線同時開業に向けて、当市民会議としましてもこれまで以上に会員が一致団結し、推進活動を展開していく必要があります。

一方で、在来線につきましても、引き続き利便性向上に向けた乗継時間の短縮や IC カードの導入を求める要望活動、また利用促進のための PR 活動を行ってまいります。

市民の皆様におかれましては、今後とも当市民会議の活動に、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

夢から現実へ！いよいよ

リニア中央新幹線のルート



リニア中間駅位置、詳細ルートの公表

平成25年9月18日にJR東海は、2027（平成39）年に先行開業を目指すリニア中央新幹線の東京・名古屋間において、騒音や振動などの結果を記載した環境影響評価準備書を公表しました。これに伴いターミナル駅となる品川、名古屋駅の概要や中間駅位置及び詳細ルートが明らかになりました。

今後は、関係する都県知事からの意見を踏まえた上で環境影響評価書を作成し、国土交通省より工事実施計画の認可を受けて、東京・名古屋間の平成26年度内の工事着工を目指し、手続きが進められます。

設置される中間駅イメージ

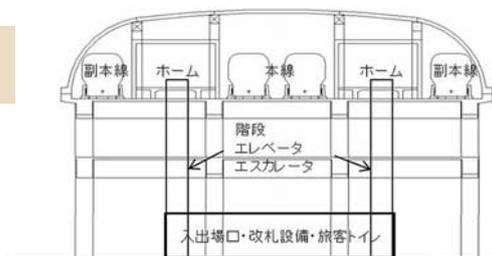
昨年、JR東海より中間駅のイメージが発表されました。そのイメージでは、「大胆に効率性と機能性を追及したコンパクトな駅」を目指し、きっぷを販売できるスペースの設置や営業専任要員の配置を行わないことが明らかになりました。

また、1階部分には、賃貸スペースを設け、地元等の負担を前提に地元等の必要に応じて、店舗の設置等ができる、さまざまな機能を併せもつ複合施設としての駅とすることも可能としています。

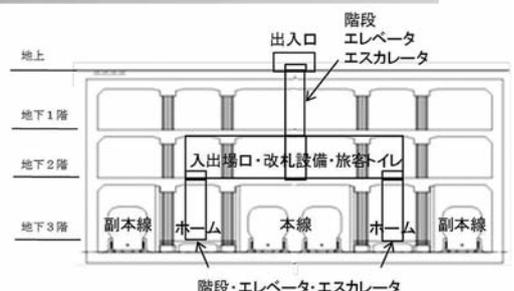
中間地上駅斜めからの外観透視図



中間地上駅
断面図

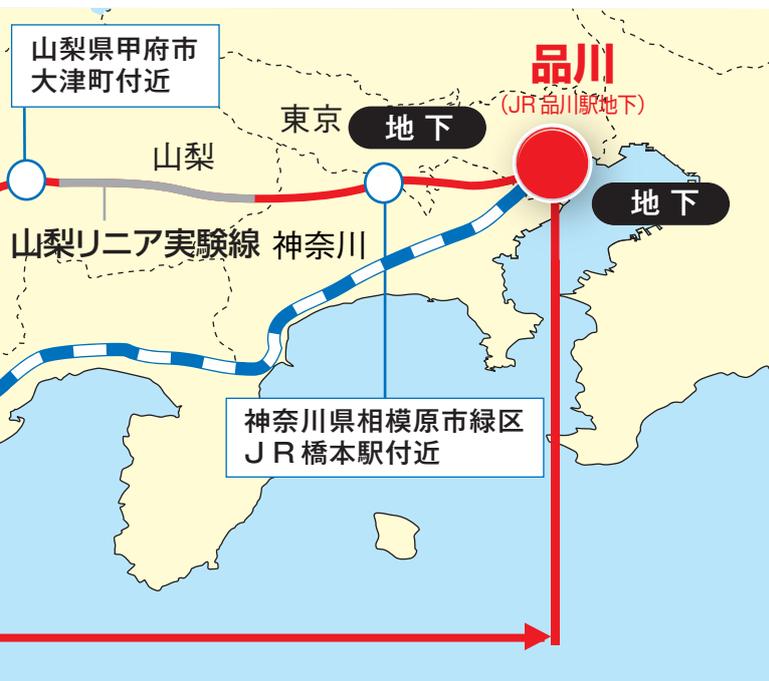


中間地下駅
断面図



(JR東海HPより引用)

リニア中央新幹線が動き出す!!



年	中央新幹線 リニア開発
昭和48年	中央新幹線を全国新幹線鉄道整備法に基づく基本経路路線として決定
昭和52年	宮崎実験線で逆T型ガイドウェイを使った走行実験開始
昭和62年	国鉄改革
平成2年	山梨リニア実験線着手
平成9年	山梨リニア実験線先行区間での走行試験開始
平成15年	有人走行で世界最高速度581kmを達成
平成19年	JR東海が自己負担を前提としたリニア推進を発表
平成20年	鉄道・運輸機構及びJR東海が地形・地質等に関する調査報告を提出 国土交通大臣が鉄道・運輸機構及びJR東海に残り4項目の調査を指示 山梨リニア実験線の更新・延伸工事に着手
平成21年	鉄道・運輸機構及びJR東海が残り4項目の調査報告を提出
平成23年	交通政策審議会答申(中央新幹線の営業主体及び建設主体の指名並びに整備計画の決定について) 国土交通大臣がJR東海を中央新幹線の営業主体及び建設主体として指名 国土交通大臣が中央新幹線の建設に関する整備計画を決定 国土交通大臣がJR東海に対し中央新幹線の建設を指示
平成25年	山梨リニア実験線延伸工事が完了、リニアの走行試験再開(8月) JR東海が東京・名古屋間の環境影響評価準備書を公表(9月)
平成26年	東京・名古屋間工事着工(予定)
平成39年 (2027年)	東京・名古屋間開業(予定)
平成57年 (2045年)	東京・大阪間開業(予定)

名古屋以西沿線地域の取り組み

名古屋以西沿線地域の取り組みとして、平成24年度に三重・奈良両県の経済団体により、東京・大阪間の全線同時開業と三重県・奈良県への中間駅の着実な設置促進を図ることを目的とし、「リニア中央新幹線建設促進三重県・奈良県経済団体連合協議会」が結成され、昨年には東京・大阪間全線同時開業時の経済効果等の調査が行われました。

また、東京・大阪間全線同時開業や、三重・奈良ルートでの早期実現を目指し、三重・奈良両県のリニア中央新幹線期成同盟会や経済団体が一丸となった取り組みを一層強化するため、「三重県・奈良県 リニア中央新幹線建設促進協議会」が結成されており、共同アピールによる国等への要望活動や、国会議員の方々との意見交換が行われています。

リニア中央新幹線の効果が十分に発揮されるためには

現段階では、東京・大阪間のうち名古屋・大阪間については、中間駅位置や詳細ルートが明らかにされていない状況であり、リニア中央新幹線の効果を十分に発揮するためには、早期に中間駅位置やルートを決定し、東京・大阪間が全線開業することが重要です。

そのような中、昨年「リニア中央新幹線建設促進三重県・奈良県経済団体連合協議会」が調査した「リニア中央新幹線全線同時開業による経済波及効果分析調査」の結果によると、東京・大阪間の全線同時開業は、名古屋までの部分開業の効果と比較すると1.7倍の経済効果があり、2027年からの30年間の累積経済効果でみると、東京・大阪間同時開業時は27.8兆円、東京・名古屋間部分開業時で19.6兆円の経済効果となり、その差は+8.2兆円となります。このことから、県内市町等で構成する「リニア中央新幹線建設促進三重県期成同盟会」においては、県内一丸となった取り組み強化により、リニア中央新幹線の早期着工と東京・大阪間全線同時開業を求め働きかけが更に行われることから、当市民会議につきましても、そのような県の取り組みに呼応し、積極的な推進活動を展開していく必要があります。

総会・講演会 7月12日(金)

亀山市文化会館会議室において平成25年度の総会を開催いたしました。

総会終了後には、三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社の主任研究員宮下光宏氏を講師としてお招きし、「リニア中央新幹線とまちづくり」と題し、ご講演をいただきました。参加者は、講演内容がリニア中央新幹線開業による経済効果やリニアを活かしたまちづくりといった興味深い話題ということもあり、熱心に聞き入っていました。



総会

リニア・鉄道親子学習会 8月24日(土)

今回の親子学習会では、44名22組の方に参加いただき、名古屋市にあるリニア・鉄道館とでんきの科学館を訪れました。

リニア・鉄道館では、超電導リニアの仕組みや鉄道の歴史を、でんきの科学館では電気や磁力について体験なども通し、親子で一緒に楽しみ、学ぶ機会となりました。



リニア・鉄道館

特別パネル展「LINEAR TO KAMEYAMA～新たなステージ、夢から現実へ!!」 in 亀山“駅”サイティングまつり 10月14日(月)

鉄道の日開催された亀山“駅”サイティングまつりでは、「LINEAR TO KAMEYAMA～新たなステージ、夢から現実へ!!」をテーマにリニア中央新幹線や当市民会議の活動についてのパネル展示と、小学生以下の児童を対象とした木製リニアカー作成ブースを出展しました。

多数の来場者にパネル展示をご覧いただくとともに、小学生以下の児童に木製リニアカーの作成を通して、磁力によって浮上する超電導リニアの原理を楽しみながら学んでいただきました。



パネル展



工作ブース「リニアカーを作ってみよう!!」

工作ブース「リニアカーを作ってみよう!!」in青少年のための科学の祭典 第10回亀山大会 11月2日(土)



木製リニアカー

青少年のための科学の祭典では、木製リニアカーの工作ブース「リニアカーを作ってみよう!!」を出展しました。工作ブースでは、木製リニアカーの作成を通して超電導リニアの原理を学ぶことができることから、当日はたくさん子ども達で賑わい、大盛況となりました。

中央要望 11月25日(月)、26日(火)

リニア中央新幹線の工事の早期着工や市内停車駅誘致、複線電化の促進などを求め、国や関係機関等に対して要望活動を実施いたしました。

要望内容は…

<リニア中央新幹線について>

- リニア中央新幹線東京・大阪間の三重・奈良ルートによる全線同時開業
- 亀山市への停車駅設置 など

<複線電化について>

- 亀山駅を中心とした在来線の複線電化の早期着手
- IC乗車券サービスの利用可能エリア拡大 など



国交省での要望活動

● PRカレンダーの発行



● PRグッズの配布



その他PR活動として…

当市民会議では、より多くの市民の方に当市民会議の活動をご理解いただくため、事業活動以外にもイベントを通してのPRグッズ配布や、PRカレンダーを発行し、関係施設への配布・設置を行うなどのPR活動を行っています。

また、昨年度からは市民の方に当市民会議の活動について知っていただけるよう会報誌の発行も行っています。

複線電化について～もっと乗って!もっと便利に!～

市内を運行するJR線は、昭和57年5月に関西本線の名古屋・亀山間が電化されたものの、亀山・加茂間及び紀勢本線は未だ非電化であり、加えて、両線の全線複線化も実現していません。

こうした現状のもと、これまで当市民会議では、関係機関に対し関西本線未着工区間及び紀勢本線の複線電化の早期実現をはじめ、列車の増便、時間短縮、乗り継ぎの改善等について継続的に働きかけを行ってきました。

しかしながら、近年、市内の鉄道利用者数は低調に推移しています。平成23年度の市内JR駅の旅客乗車人員は、約127万人で、平成16年度に比べ、約8万7千人の減少となっています。これを1日あたりに換算すると、市内JR駅から乗車する旅客人員は約240人減少していると言えます。

複線電化の実現はもとより、JR線の利便性の向上に向けては、より多くの方々に鉄道を利用していただくことが大切です。今後も、当市民会議では、「もっと乗って!もっと便利に!」を合言葉に、鉄道利用の促進を図る取り組みを積極的に進めていきます。



図：亀山市内JR駅の旅客乗車人員

当市民会議は、昭和43年に国鉄複線電化の推進を目的に発足し、平成4年からはリニア中央新幹線の早期実現と市内停車駅誘致を活動目的に追加し、国や関係機関等への要望活動や親子学習会など各種イベントでのPR活動などを通して、リニア誘致や複線電化に繋がる取り組みを積極的に行っています。

会員一覧

団体会員（順不同）

亀山市
 亀山市議会
 亀山市教育委員会
 亀山市農業委員会
 亀山市自治会連合会
 亀山ライオンズクラブ
 亀山ロータリークラブ
 亀山商工会議所
 (社)亀山青年会議所
 亀山青年会議所シニアクラブ
 鈴鹿農業協同組合亀山地区
 亀山茶農業協同組合
 亀山市婦人会連絡協議会
 亀山地区労センター
 鉄道OB会亀山支部
 亀山市観光協会
 鈴鹿森林組合
 (一社)三重県建設業協会亀山支部
 亀山地区労働者福祉協議会

企業会員（五十音順）

(株)安全
 (有)いとう弁当店
 (株)エイチワン亀山製作所
 カメヤマ(株)
 亀山瓦斯(有)
 亀山急送(株)
 (有)亀山自動車学校
 (株)亀山ショッピングセンター
 亀山製絲(株)
 岸牛乳店
 北伊勢上野信用金庫亀山支店
 協同油脂(株)亀山工場
 高圧昭和ポンベ(株)
 好福堂
 (有)小菅金物
 三交興業(株)名阪関ドライブイン
 (株)三扇
 (株)ジェイテクト亀山工場
 島内建設(株)
 シャープ(株) ディスプレイデバイス戦略本部
 昭和パックス(株)亀山工場
 白川建設(株)
 鈴鹿インター(株)亀山事業所
 (株)スチールセンター亀山事業所
 (株)セキデン
 (株)大紀アルミニウム工業所亀山工場
 (株)第三銀行亀山支店
 (株)タクティール亀山物流センター

田島シルク(株)
 中日運輸(株)
 中部電力(株)鈴鹿営業所
 東海労働金庫亀山支店
 東洋電装(株)亀山工場
 (株)栃木屋
 (株)長田建材店
 (有)ニシムラ
 日東電工(株)亀山事業所
 日本科学冶金(株)
 パナック(株)亀山工場
 (株)百五銀行亀山支店
 (株)プラザチェーン
 古河電気工業(株)三重事業所
 堀田建設(株)
 (株)ホンダオート三重亀山店
 (有)マルミ化粧品店
 (株)三重銀行亀山支店
 三星電機商会
 (株)宮長
 (有)むかい
 (株)村山ガス
 (有)保田ガラス店
 柳河精機(株)亀山工場
 山川運輸(株)
 (株)ヤマシタコーポレーション三重事業所
 リケンテクノス(株)三重工場
 (株)菱電三重製作所

担当コラム

平成25年度はリニア中央新幹線開業に向けさまざまな動きがみられました。本文でも述べている環境影響評価準備書の公告や中間駅位置、詳細ルートの発表、またリニア山梨実験線では延伸・更新工事が完了し、平成25年8月に営業仕様の新型リニア車両L0系を用いた試験走行が開始されています。開業へ向け大きく動きはじめているリニア中央新幹線の動向には今後も目が離せません。

今後もリニア中央新幹線の全線同時開業やJR複線電化に向けた取り組みを行うとともに、引き続き会報誌の発行など、市民の方により身近に感じていただけるような活動にも取り組んでまいります。これからも市民の皆様のご支援、ご協力をお願いいたします。